



読字英原田 親

No. 684

2012/11/5

中日友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
西神田2-4-1 第2号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8236
岡山市東区3-8-30 514
TEL: 086(272)-3010
郵便番号11所
01250-01-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8911
倉敷市瀬島中央4-8-1
(宮地方)
TEL/FAX: 086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

尖閣諸島問題と反日デモについて

——中国帰国者の思い——

はじめに

4月の石原東京都知事の尖閣諸島購入発言に端を発し、9月の野田内閣の国有化決定を受け、中国各地で激しい反日デモが広がった。一部若者が暴徒化し、日系企業が破壊され、

さらに日本人が暴行されるといった事態が起った。

日中国交回復40周年を記念して計画されていた、双方の文化、スポーツ、経済交流が中止になった。日中関係は、40年間で最大の危機的な状況になっている。

両国の国民の生活と経済を第一に

今回「釣魚島」(尖閣諸島の中国名)の主権問題がきっかけで、中国100都市以上の地域で、反日デモが行われた。それで日中関係に黒い影を落しました。

今回の事件の導火線は、日本の釣魚島国有化が引き起こしたと思います。「釣魚島」は日中両国に対してとても大事な所なんです。両方とも自分の領土と主張しました、どちらも譲りません。誰でも譲ってはいけない、そのこと、日中国交の時も両方協議しました。このあとの鄧小平さんも「棚上げ」論もあって両方認めた。しかし9月日本側の「购島」協議「島国有化」の笑談なことにしました。それで、日中両国の友誼の橋が崩れました。そのこと、中国人の心に大きな衝撃でした、だから反日デモが相次いで各地で多発しました。

デモに参加した人は、日本人に対してではない、日本政府の

おわりに

今岡愛子さんと日中友好新聞の10月15日号に載った上里賢一氏の「心の窓開いて話し合い進めよう」を読みあわせした。彼女は、この五項目の提言(資料参照)に賛成である。中国も理解を示すのではないかと述べた。

現在、事態は一応鎮静化していますが、問題の火種は消えたわけではない。いつ爆発するかわかりません。日中双方に軍事的対応でなく平和的な外交によって、時間をかけ冷静な話し合いによって解決の道を探して欲しい。日中不再戦の旗を高く掲げて日中友好運動を進めてきた、私たちは、今後も日中両国民の草の根の交流を大切にしていきたい。

小林軍治

今岡愛子

両国の国民の生活と経済の成長を一番重要なことと考えた方がいいと思います

五項目の提言

- 一、 対米従属路線の見直しを
- 二、 軍事的緊張の火種とするな
- 三、 『領土問題』の存在認めよ
- 四、 資源共同開発へ踏み出せ
- 五、 日中台間で共同研究を



小林軍治さんと今岡愛子さん

日本の中国に対する感情が悪化するなかで、日本で生活している中国帰国者のみなさんは、複雑な思いでこの問題の動向を見守っている。今回は、日本に来て8年が経過した、中国残留婦人の3世で長岡の日本語教室で学んでいる今岡愛子さんに、その思いを書いてもらった。

受講生による中国料理の作り方の説明には、日本の女性陣から沢山の質問が出ましたが、受け答えもちゃんと全部日本語で出来ていました。中国語学習歴三年の私は、彼女らと同じくらいの学習期間なのに未だ稚拙な内容しか話せないことを恥ずかしく思うと同時に彼女達を見習って私もっと努力をしなければと強く誓い、公民館をそつと後にしました。

芳田公民館

日本語学習講座

一周年式典

谷川 浩文

十月二十日十時より芳田公民館で14人弱の関係者が集まりました。講師や芳田公民館の職員の挨拶に続いて、日本語教室の受講生がそれぞれ日本語で発表しました。日本語教室の雰囲気はとても良く、僅かな参加費で、彼女らの都合を優先してもらっていることに大変感謝していると口を揃えて言っていました。一度見学させてもらったことがあります、教室は中国語と日本語が飛び交い笑顔がパツと咲いているそんな楽しいところでした。

西安旅行

⑤

谷川浩文

第3章

帰国の途

5日目

西安空港ではツアー客は団体専用通路を使うことになっていて、往路も復路も通路を出ると日本人団体客だけバスに詰め込まれ、行きは暗い空港から人気がないところへ連れて行かれる。

ある者は不安になったのか、拉致されるのか？？！...！と言いだすものも。

決してそんなことは無い。それは駐機場から手荷物を受ける場所までかなり離れているからであった。後で知ったが我々はVIP待遇だったようだ。

我々は帰国の途に就くため朝

6時半にホテルを出る。中国南方航空で大連を経由して帰るが、大連から日本に永住しているという中国人が僕の横へ乗ってきた。ちよつと変な関西弁を使うが、気さくな奴で、終始日本語で日本と中国の出来事について議論を交わした。

ここでは詳しく書けないが、彼は負けず嫌いで、日本と戦争になったら絶対勝つ！と豪語していた。あくまでも半分冗談で言ってるのだろうが、最後はやはりお互い仲良くやりたいね！で話はまとまった。

西安から帰ってきてテレビをつけると西安ではデモで死傷者（中国人）も出たらしい。日本人が宿泊するホテルも取り囲まれ、引きずり出せ！とまで言っていたそうである。この報道に接するたびに、一概に中国だけに全面的な非があるのではない。日本が歴史認識について余りに無関心で無知であるからである。特に中国は先の戦争で多くの日本人に虐殺され蹂躪されており、学校で反日教育を叩きこまれている。

中国と日本は互恵関係にあるので、どっちが欠けても経済的に窮地に陥る。日本と中国は互いに共存共栄の道を模索していかなければならない。唐を訪れた日本人僧侶の空海もこの光景を天上から見下ろしきつ



と嘆いているに違いない。

おわり

岡山県9条の会ニュース

三木睦子さんの志を受け継いで 九条の会が講演会

9月29日、東京日比谷公会堂で開かれた九条の会講演会は、全国から1800人が参加、熱気を帯びた会場で、大江健三郎・奥平康弘・澤地久枝三氏の講演が行われました。

大江健三郎さん・三木さんの思い出にふれたあと、原発ゼロの勢力に期待、尖閣列島で沖縄を無視する都知事の態度、この国は民主主義だろうか。原発再稼働、オスプレイいずれも憲法と深く関わる。9条を守り抜く声を世界に発信することが重要だ。

奥平康弘さん・憲法九条に込められた非戦・非武装の精神はその後の運動や裁判により保たれている。今改憲を目指す支配層は「集団的自衛権」獲得を課題とし、橋下大阪市長は憲法96条改訂を打ち出している。今こそ九条の会立ち上げの出発点、九条の魂を再び選び取ろう。

澤地久枝さん・今こそ憲法の精神に立ち返り、日本が民主的な国として、命を大切にすることにするために一人ひとりの意思と勇気が試されている。

万水千山

古代史家上田正昭氏は、ある料亭の主人が所蔵する朝鮮陶器などを自慢した後、朝鮮民族を蔑視する発言をしたので、文物は褒めるが民族はだめだというのはおかしいと反論したという▼この発想は遡れば幕末維新の吉田松陰らの「征韓論」にあるが、その根底は国学の「皇国史観」である。皇大御国が...世界万国の根本で万国の君長を、皆臣僕と為すべし」という考え▼それが、明治維新の「富国強兵策」「文明開化」の風潮と結びついて、福沢諭吉らの「脱亜入欧論」になり、アジアへの膨張政策の論拠となる。伊藤博文は韓国に向かって膨張すべきは自然と述べ、西郷、大久保、木戸ら明治の元勳たちは韓国の武力制圧を主張し、韓国併合」を強行した▼アジア・太平洋戦争は、ハ絃一字「大東亜共栄圏」をスローガンに突き進んでいった▼また、岡倉天心は朝鮮を「枯死国」とよび、日本による支配を正当化した。徳富蘇峰は朝鮮統治には力のみと述べた。日本を代表する「文化人」にしてこれだ▼いまも戦争責任を問うのは「自虐史観」「侵略戦争をアジア解放」という御仁がいる。こことあるたびに起こる日韓（朝）、日中の摩擦は、日本の侵略を支えたことの考え方と決別なしには解消できないのではないか。

(高)

『中友好新聞、兵庫県連版』から転載(2012.10.15 第2269号)

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

28

竹内和夫



語尾に順番ありや？③

《ちよつと復習してみよう。一番はじめに出てきた動詞の長い単語は、「書かせられました」だったね。以下これらの語尾は、つぎのような構造(順番)をしていることがわかった。ここでは、語尾の文法的役割をはっきりさせるために、間をあけてみました。

- ⑧書か せ られ まし た
(語幹 使役 受けみ 丁寧 完了)
- ⑬⑭書か なけ れば なら ない
(語幹 否定 仮定条件 | 語幹 否定)
- ⑭読ま せ られ ちゃっ た
(語幹 使役 受けみ 連語 完了)
- ⑮見 (ら)れ なか った
(語幹 可能 否定 完了)
- ⑰飲ま せ たい
食べ させ たい
(語幹 使役 希望)
- ⑰行か せ なか った
(語幹 使役 否定 完了)
- ⑰買わ れ まし た
(語幹 尊敬 丁寧 完了)
- ⑰買い ませ ん
(語幹 丁寧 否定)
- ⑳かれに 愛 され たい
(語幹 受けみ 希望)

さて、いろいろな組みあわせがあるが、大事なことは、語尾は前後逆転したり、自由に入れかわったりできないということ、いいかえると「語尾には優先順位あり」ということ》

つづく

林和
小竹内
竹内井
坪垣
三垣
光本

今回の新聞放送作業は
11月12(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。